

*「特別講演」と「教育局セッション、学術局セッション、企業セミナー2」の開催順が入れ替わりました。ご確認ください。

第19回 日本シーティング・シンポジウム プログラム

第1日目 : 12月14日 (土)

●9:00～9:10 講堂

開会の辞 大会長：森田智之（神奈川県リハビリテーション病院）

●9:10～9:50 講堂

大会長基調講演：「研究と臨床の成果を明日の実践へ～臨床と研究のサイクル～」

講師：森田智之（神奈川県リハビリテーション病院）

座長：廣島拓也（花はたりリハビリテーション病院）

●10:00～11:10 講堂

教育局セッション：「生活を視る、褥瘡のシーティング」

担当：溝井昌子（市立奈良病院）

学術局セッション：「学術誌「車椅子シーティング研究」の特色と役割」

担当：亀ヶ谷忠彦（群馬医療福祉大学）

●10:00～11:00 講義室2（183）

企業セミナー2：「電動アシストと電動車椅子の操作性の最前線」

講師：サンライズメディカルジャパン株式会社

●13:10～14:10 講堂

教育講演1：「24時間から考える重度化予防の為のシーティング ～基本から実践まで～」

講師：香川 寛（一般社団法人日本重度化予防ケア推進協会）

座長：古田大樹（鹿教湯病院附属豊殿診療所）

●13:10～14:10 講義室2（183）

セッション1：「症例」

座長：河野伸吾（定山溪病院）

A-1 演者：佐藤一秀（川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター）

「車椅子シーティングにより日常生活関連動作の改善と主婦としてのアイデンティティを再獲得した重度左片麻痺を呈する症例からシーティングの可能性を再考する」

A-2 演者：正垣 明（兵庫県立尼崎総合医療センター）

「NICUにおける周術期管理中からの座位保持の重要性」

A-3 演者：榎本はるな（花はたりリハビリテーション病院）

「回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者に対するDynamic Arm Supportの導入の検討」

A-4 演者：大貫真奈（横浜新都市脳神経外科病院リハビリテーションセンター）

「車椅子調整と環境調整により食事自力摂取に繋がった症例」

●14:30～15:30 講堂

セッション2：「困難事例」

座長：馬場孝浩（老人保健施設いずみの）、青木克久（鹿教湯病院）

A-5 演者：平松優香（神奈川県リハビリテーション病院）

「頸髄損傷者の難治性褥瘡への車椅子座位に対する介入ーダイナミック型クッションの使用が有効であった症例ー」

A-6 演者：守田英樹（ソフィアメディ株式会社）

「不顕性誤嚥を繰り返すパーキンソン病症例に対し、姿勢調整を行ったが、症状が悪化していく一症例」

●14:30～15:30 講義室2（183）

企業セミナー1：「病院内での標準型車いすの課題とその改善策に関するセミナー」

講師：株式会社フロンティア

●15:40～16:20 ラウンジ

ポスター発表（7演題）

P-1 演者：立川智也（越谷誠和病院）

「在宅でのシーティングにより車椅子への否定的な認識が解消し、車椅子乗車して食事や趣味を楽しむ生活を獲得できた認知症を呈した超高齢の事例」

P-2 演者：川口大貴（佐賀リハビリテーション病院）

「座圧測定を用いた車椅子選定により活動範囲が拡大し円滑な医療介護連携が可能となった事例」

P-3 演者：原美悠紀（合同会社リハ・クリエイティブ）

「車椅子座位姿勢のシーティングを行い口腔構音器官の運動範囲に改善がみられた一例」

P-4 演者：長岐祐輔（イムス佐原リハビリテーション病院）

「仙骨部褥瘡、股関節屈曲拘縮を有する患者に対して座圧測定器を用いたシーティングの経験」

P-5 演者：田中瑠美（定山溪病院）

「シーティング相談によるシーティングのPDCA ～パーキンソン病の進行で車椅子が適合しなくなった事例を通して～」

P-6 演者：岡本絵里加（湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科）

「車椅子座位上肢機能検査短縮版（Short Form of the Wheelchair Seating Arm Function Test）の測定時における机の高さが測定値へ及ぼす影響」

P-7 演者：岩澤 徹（原宿リハビリテーション病院）

「当院における多職種連携によるシーティングチームの取り組み」

●16：30～18：00 講堂

特別講演：「次世代の褥瘡ケア：テクノロジー、データ、そしてチーム医療の融合」

講師：仲上豪二郎（東京大学大学院医学系研究科）

座長：森田智之（神奈川リハビリテーション病院）

第2日目：12月15日（日）

●9：00～10：30 講堂

シンポジウム（社会局企画）：「シーティングに関わる企業の皆様から私たちへの提言」

シンポジスト：佐野俊也（アビリティーズ・ケアネット株式会社）

田中俊太郎（ラックヘルスケア株式会社）

林 寛人（サンライズメディカルジャパン株式会社）

座長：阿部高家（リハビリテーション天草病院）

●9：00～10：00 講義室2（183）

セッション3：「調査・研究」

座長：小川秀幸（埼玉県リハビリテーションセンター）

A-7 演者：亀ヶ谷忠彦（群馬医療福祉大学）

「高齢者の車椅子シーティングに用いる包括的評価法」試案の開発」

A-8 演者：恒川里沙（藤田医科大学七栗記念病院）

「脳卒中患者を対象としたシーティングに関する練習時間の調査」

A-9 演者：坂下智哉（花はたりリハビリテーション病院）

「脊髄損傷者を対象としたHoffer座位能力分類（JSSC版）の検者間信頼性に関する検討」

A-10 演者：村木円香（株式会社フロンティア）

「電動式ティルト・リクライニング機能付き車椅子の 利用と介護負担の軽減について」

●10：50～11：50 講堂

教育講演2：「子どもの姿勢保持具や車椅子等の臨床から機器開発の実践」

講師：中村詩子（横浜市総合リハビリテーションセンター）

座長：岩谷清一（TOWN訪問診療所）

●10：50～11：50 講義室2（183）

企業セミナー3：「車椅子の構造が与える影響～グレイスコアシリーズ～」

講師：株式会社松永製作所

●12：50～13：50 講堂

教育講演3：「私の実践-臨床と機器開発のつながり」

講師：辻村和見（神奈川リハビリテーション病院）

座長：小原謙一（川崎医療福祉大学）

●12：50～13：50 講義室2（183）

ワークショップ：「基本技術講座：身体寸法と車椅子寸法を計測しよう」

講師：土居道康（南松山病院）

●14：10～15：10 講堂

教育講演4：「臨床で結果が出せる摂食嚥下・褥瘡のシーティング～あなたのシーティングがその人の人生を左右する～」

講師：土中伸樹（養和病院）

座長：前田 哲（甲州リハビリテーション病院）

●14：10～15：10 講義室2（183）

シーティングコンサルタント取得 Fコース(事例検討会)（2名）

（受講生2名による症例報告。どなたでも参加できます。）